

12月議会  
一般質問

# 自転車の安全走行と駐輪場について

## 道路交通法改正の周知を

2026年4月からの道路交通法改正で自転車走行に青切符による罰金制度が始まります。市民に周知する方法を尋ねました。

「警察署発行の自転車ルールブックや県作成のパンフレット、動画、HPなどで制度の周知を図る。16歳以上が青切符の対象となるので、市内中学3年生にパンフレットを配布し周知する」との答弁でした。

## ヘルメットの装着率向上を

市内の道路は道幅が狭く自転車道を整備するのも困難です。駅近くに自転車を置いて電車に乗る人を含めヘルメットを多くの人にかぶってもらえるよう

にすることが重要です。ヘルメット購入補助の利用者は現在まで2989人。人口の3%程度であることがわかりました。

折り畳みヘルメットやヘルメットの盗難防止装置などを紹介し装着率を上げよう求めました。「今後江南交通安全協会と連携して着用率向上のため啓発をすすめる」との答弁でした。



みわ 陽子議員

## 江南駅無料駐輪場の今後は

有料化の方針が出ていた江南駅周辺の無料駐輪場については、駅周辺の交通環境の改善を進める中で検討することでした。直ちに有料化の方針を示すわけではないということがわかりました。



# 市財政ひっ迫の原因と責任は

市は財政ひっ迫のため、既存施策・事業のゼロベースでの見直しと市民負担増・サービスカット、公共施設の廃止・統廃合を促進する方針を示しました。財政の舵取りを誤り、財政難を招いた原因と責任を質しました。

## 布袋周辺の過剰開発、PFI反省を

かけの議員は ①鉄道高架をはじめ土地区画整理事業、周辺道路など布袋駅周辺の過剰なまでの開発 ②PFI・PPP手法による過大な施設整備と維持管理・運営委託料の増大 ③公共施設の更新を見据えた基金の積み立てがなく、老朽施設の建替えも遅れて物価高騰が直撃 ④市外大手企業による大型事業の受注を招き、地域経済活性化逆行。など数々の原因を指摘し市トップの責任を追及しました。

また国県の補助金が少なすぎ、国による地方自治体への一方的な負担押しつけも多いため、財源確保を国県に求める必要性を指摘しました。



かけのまち子議員



## 布袋駅エスカレーターは名鉄に移管し、土日祝日無人駅の解消を

布袋駅のエスカレーターは、江南市が約1億7000万円余をかけ駅構内に設置。毎年、保守点検料・電気代など434万円（R6年決算）を名鉄に支払っています。維持管理費を市が100%払い続けるのは道理がとおりません。エスカレーターを名鉄へ移管するよう求めました。

また、見違えるほど広く立派になった布袋駅にもかかわらず、土日祝日は終日無人で不安の声が上がっています。無人駅を解消するため名鉄と交渉するよう求めました。

「エスカレーターは強い地元要望に基づき市が設置したため、名鉄への移管は困難。無人駅解消の要望は名鉄に伝える」と答弁がありました。

## 福祉バスの廃止は止めよ

見直しの対象事業にあがっている福祉バスについて取り上げ、老人会など市民団体に悪影響を及ぼさないよう求めました。

「バス2台が買替え時期となり検討の結果、運転手付きで借り上げるのが最も経済的となるためこの方向で進める。運用方法の大きな変更は考えていない。各課において『市が主催及び共催する事業』であると判断すれば、引き続き利用は可能」と答弁でしたが、各課の判断次第では難しいケースも出かねません。

## 草井支所と学供、すいとぴあ廃止では、地域から拠点が消える

宮田支所・草井支所の統廃合、草井学供の複合化を急ぐ方針ですが具体像が不鮮明です。すいとぴあ江南の完全廃止まで重なれば、草井地域から公共施設が消えてしまいます。

買い物も公共交通も不便な、市周辺地域の住民を取り残してならないと主張しました。